

人生をトータルでサポートできる行政へ

問い合わせ  
企画課  
☎57-8503



自分自身のことや家族のことなど、生活の中での悩みや不安は誰にでもあること。一度切りの人生だからこそ、良いことも悪いこともひっくるめて、最後には「いい人生だった」と思いたいものです。

生活の中で子育てや仕事、健康、親、ご自身の老後のことなど、「こんな支援があればいいのに」「こんなことで困っている」「私はこんな支援ができる」など、さまざまな課題があると思います。香南市は、そんな課題について、解決に向けた方法を一緒に考えることのできる行政、人が生まれ人生を終えるときまでをトータルで見守り・支援できる行政を目指して行きたいと思っています。地区懇談会でも話題に出していますので、ぜひ、あなたにとって必要な課題を教えてくださいませんか。ご意見は地区懇談会場または、直接、企画課までお願いいたします。

※地区懇談会の日程は下欄へ掲載

## ◆香南市で実施・検討している支援事業(主なもの)

<b>幼年期</b>	<b>誕生! ... 人生のはじまり</b> ●乳児の無料健診 ●育児・母乳・障害児相談 ●新生児と4カ月までの乳児の家庭訪問 ●乳幼児健診 ●離乳食講習会 ●10カ月健診時の絵本プレゼント ●予防接種 ●ひとり親家庭へのサポート事業 ●出産・入院中の母親のための子どもの一時預かり ●子育て短期支援(ショートステイ) など <b>■これから実施を検討すること</b> ●病後児保育...病気の回復期にある子どもの預かり事業
<b>就学期(小学生~大学生)</b>	<b>入学・卒業など... 生活環境が変化する節目のとき</b> ●小学1年生からの外国語教育 ●就学支援 ●家庭内暴力・DV・いじめ相談 ●ひきこもり・障害児童の支援 ●地域での子ども見守り など <b>■これから力を入れて取り組みたいこと</b> ●ボランティア活動の推進や学生の留学・就職・起業に関する支援 ●シチズン・リテラシーとキャリア教育の推進...地方自治の仕組みや地域活動の重要性、生きる力などを身につける教育の推進
<b>成年期</b>	<b>就職など... さあ 社会人としてのスタート</b> ●障害者就職支援 ●婚活の推進と支援 ●20歳から39歳を対象にした健診の実施 など
<b>成熟期</b>	<b>結婚・出産・育児など... 仕事も家庭も充実するころ</b> ●各種健診の実施 ●妊婦の無料健診 ●出産費等の支援 ●パパママ教室 ●妊娠・子育てに関すること ●消費生活相談 ●芸術・文化・スポーツサークルの支援 など <b>■これから検討すること</b> ●遠隔地での勤務を可能にする雇用(テレワーク事業)の推進
<b>老年期</b>	<b>第二の人生がスタート... 定年を迎えるなど、老いを身体で感じるころ</b> ●趣味や教養教室の開催、サークル活動の支援 ●スポーツの推進 ●ボランティア養成講座の開催とボランティアセンターの充実 ●介護・高齢者虐待・成年後見などの相談 ●独居高齢者への緊急通報装置の貸与や家事援助サービス ●地域包括支援センターの職員や日本郵便外務員による見守り訪問 など
<b>晩年期</b>	<b>人生の集大成... 健康や生活のことなど不安や心配ごとがたくさん</b> ●高齢者生活支援ハウスへの入居、介護認定者の住宅改造への支援 ●認知症に関するサポート養成講座の開催 ●自身の万が一に備え、財産・葬儀・相続などについて希望を書き留めておく、エンディングノートなどの作成支援 など

**【地区懇談会日程】** ■開催時間はすべて19時~21時  
 ◆5月7日(火)夜須川集会所 ◆5月9日(木)夜須福祉センター ◆5月10日(金)佐古防災コミュニティセンター ◆5月13日(月)のいちふれあいセンター ◆5月14日(火)東上野公民館 ◆5月16日(木)下高田公民館 ◆5月20日(月)西石家公民館 ◆5月21日(火)みどり野東公民館

# 市長談話室

## 7

### 事前復興の観点から 防災を考える(4)

「事前復興の観点から防災を考える」の4回目。津波被害に遭わない事前防災の方法として、高台移転(2月号・35ページに掲載)と立体換地が考えられます。今月は「立体換地」についてです。

## 立体換地

津波被害に遭わないためには津波の来ないところに住むことが一番ですが、津波が来ると予想されている場所であってもそこに住み続けたい。これまでもと変わりになく商売を続けたいと思うのは、当たり前のこと。そこで、方法の一つとして考えられるのが、高さが十分にある頑丈な建物に住居や店舗などを移すことです。高い建物であれば、周辺住民の一時避難場所とすることも可能となります。

## ◆土地区画整理事業と市街地再開発事業

土地区画整理事業は、道路や公園、河川等の公共施設を整備改善し、土地の区画を整え住宅の利用の増進を図る事業で、整理後の宅地面積は従

前に比べて小さくなります。立体換地は、複数の土地と建物の資産権利(図1)を高層ビルの床に置き換える手法です(図2)。

また、立体換地を手本として土地と財産を高層ビルにするのが、市街地再開発事業等による高層ビル建設の手法です(図3)。

高層ビルを建設する場合、換地を希望する世帯数以上の住居を建設し、その住居を販売することでビルの建設費用の一部を確保することも可能となります。

どちらの手法も事業実施には関係権利者の同意や地域での合意形成が必要となります。これからの機会があるたび、事業手法や権利変換の内容についての説明を行い、要請があれば事業化に向けて検討していきたいと考えております。

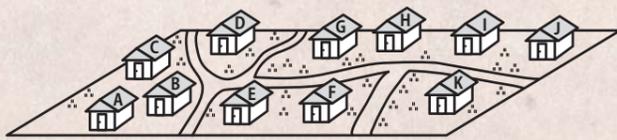


図1 区画整理前

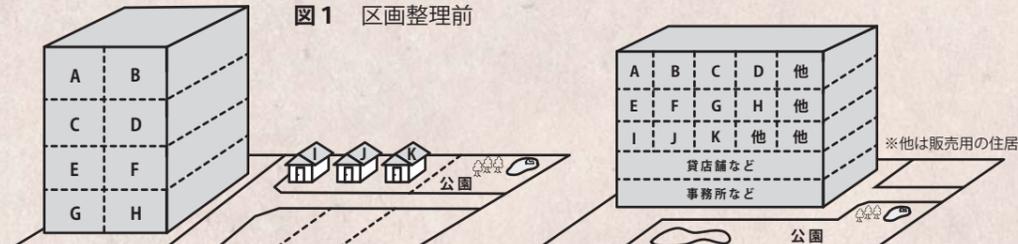


図2 土地区画整理による立体換地

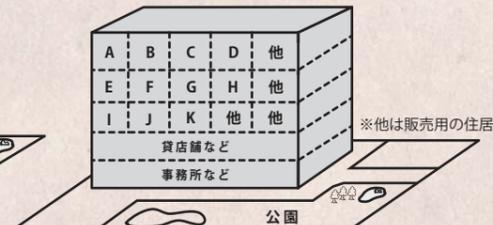


図3 市街地再開発事業等による高層ビル建設



清藤 真司

## おすすめの本

### 不愉快な現実

中国の大国化、米国の戦略転換



まごさき うける  
孫崎 亨/著

最近、何かの話題やニュースになることが多い中国。GDPでは、日本を抜いて世界第2位。政治は外交から始まり、巡り巡って地方経済に影響していくもの。元外務省官僚の孫崎亨氏。最近多くの著作が本屋に並んでいますが、世界から見た中国の存在が明確に分かる本です。